

# 総合型選抜 (学びの体験方式) (オープンキャンパス進路探究方式) (離島特別方式)

専願

入学選抜詳細

総合型選抜(専願)(学びの体験方式/オープンキャンパス進路探究方式/離島特別方式)

## 1 日程

出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	一次手続き (入学金納付期限)	二次手続き (学納金等納付期限)
9月25日(木) ～10月7日(火)	10月18日(土)	広島(本学)	11月1日(土)	12月11日(木)	2026年 3月24日(火)

## 2 募集人員

※各日程の志願者数・受験者数・合格者数・平均得点率はP.57～59に掲載しています(過去2年分)。

教育学科 初等教育専攻	教育学科 中等教育専攻	人間福祉 学 科	心理学科	人間栄養 学 科	グローバルコミュニケーション 学 科
12名	3名	9名	8名	9名	9名

## 3 出願資格

### 学びの体験方式・オープンキャンパス進路探究方式

- ①本学の「アドミッション・ポリシー」並びに志望学部・学科の「アドミッション・ポリシー」を十分に理解し、志望学部・学科で学びたいと強く希望している者(※アドミッション・ポリシーは、本冊子P.1でご確認ください)
- ②次のいずれかに該当する者で、入学を希望する学部・学科での学修に強い意欲を持ち、かつ、合格した場合本学に入学することが確実な者
  - ・高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
  - ・通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2026年3月修了見込みの者
  - ・学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者

### 離島特別方式

学びの体験方式・オープンキャンパス進路探究方式の出願資格を満たし、かつ、出願時点で離島に居住している者(※離島：国土交通省が定める離島振興法による離島振興対策実施地域(沖縄・奄美・小笠原を含む)。  
対象地域などの詳細は、広島文教大学入試広報課(0120-75-3191)までお尋ねください。

## 4 入学検定料

20,000円 入学検定料の他に、インターネット出願システム手数料900円が必要となります。

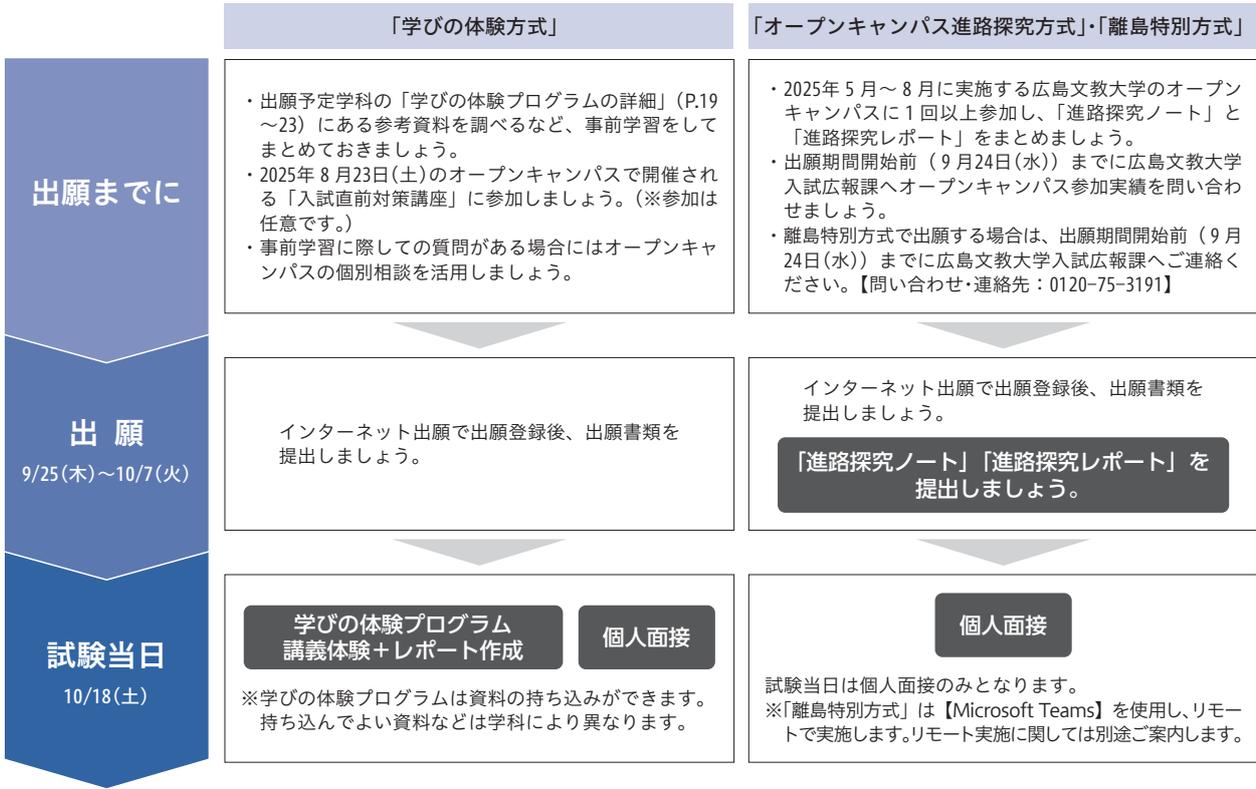
## 5 出願書類

- ①入学志願票・写真票
- ②志望理由書
- ③調査書(文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものに限る)
- ④進路探究ノート・進路探究レポート(オープンキャンパス進路探究方式・離島特別方式)

## 6 試験方法/配点と総点

各試験方式による『学びの体験プログラム』『進路探究ノート・進路探究レポート』『個人面接』『提出書類』の内容から総合的に判定します。

試験方式	学びの体験 プログラム	進路探究ノート・ 進路探究レポート	個人面接	調査書	総点
学びの体験方式	150	—	100	50	300
オープンキャンパス進路探究方式	—	150	100	50	300
離島特別方式	—	150	100 (リモート)	50	300



## 7 試験当日のスケジュール

時間	内容(全学部・学科共通)	
	「学びの体験方式」	「オープンキャンパス進路探究方式」・「離島特別方式」
9:00~	受付開始	
9:50	受験生入室完了	受験生入室完了／面接室への誘導
10:00~	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>学びの体験プログラム</b> </div> 10:00 ~ 12:00 (120分うち10分休憩)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>個人面接</b> </div> 10:00 ~ (一人15分) 受験生1人、面接官2名による個人面接です。15分の時間の中で、志望理由、将来展望などについて問われます。 ※面接中は資料やメモなどを見ることはできません。 ※「離島特別方式」はリモートで実施します。
12:00~12:40	休憩(昼食)	
12:40~13:00	面接室への移動	
13:00~	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>個人面接</b> </div> 13:00 ~ (一人15分) 受験生1人、面接官2名による個人面接です。15分の時間の中で、志望理由、将来展望、当日の取り組みの内容などについて問われます。 ※面接中は資料やメモなどを見ることはできません。	

## 8 入学前学習

合格者には「入学前学習」に取り組んでもらいます。本学の「入学前学習」は、高等学校等での学習と大学での学修の接続をはかるとともに、入学後の学びへ向かって自ら学ぶ姿勢を養うことを目的としています。また、2026年2月14日(土)に大学での学びへの心がまえやつながりを作る入学前イベント「プレスチューデントデイ」を実施します。いずれも詳細は、可否通知書に同封する資料でお知らせします。



内容とテーマ

**内 容：講義体験（グループワーク含む）（65分）、レポート作成（45分）**

**テーマ：英語学習はいつから始めればよいか考えてみよう**

日本に近い東アジアの国々では、2000年頃から小学校で英語を教えるようになってきました。日本でも、平成20年（2008年）度には小学校高学年に英語学習が導入されました。また、令和2年（2020年）度からは中学年に移されました。このように、英語学習の開始が早まっています。一方で、「小学生の段階で、英語と日本語の学習を同時進行させることは、日本語の習得に影響を及ぼすのではないか」、「論理的思考力がまだ十分に育っていない段階では負担が増えるばかりで効果はないのではないか」と問題視する声もあるようです。

英語学習を始めるのはいつからがよいのでしょうか。小学校3年生より早い方がよいのでしょうか。または、小学校3年生より後の方がよいのでしょうか。それとも、今のままの方がよいのでしょうか。

そこで講義体験では、英語学習の開始時期に関する考えをいくつか紹介します。講義体験では講義内容を理解し、自分の考えをもつことが求められます。また講義体験のなかでおこなうグループワークでは、自分の考えたことをわかりやすく説明する力や他者の考えを理解しようとする態度が求められます。レポート作成では、事前学習や講義の内容、他者の考えをふまえながら自らの考えを500～800字に整理しまとめる力が求められます。

事前学習

当日は、英語学習はいつから始めればよいのかについて意見交流します。そのために、英語学習はいつから始めればよいのかについて、以下の参考資料などを読んだり調べたりして自分の考えをまとめてみましょう。また、これまで受けてきた英語学習に対する自分の経験や考えもノートなどにまとめておきましょう。

参考資料

- ① 「小学校英語の現状・成果・課題について」（文部科学省、平成27年（2015年）4月28日）  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/siryo/\\_icsFiles/afieldfile/2015/05/25/1358061\\_03\\_04.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/siryo/_icsFiles/afieldfile/2015/05/25/1358061_03_04.pdf)
  - ② 「小学校英語に関する調査」（ベネッセ教育総合研究所、2023年）  
[https://benesse.jp/berd/up\\_images/research/research\\_230830.pdf](https://benesse.jp/berd/up_images/research/research_230830.pdf)
- これら以外にも、以下に示した「取りむうえでのキーワード」などについてインターネットや図書館等で調べてみましょう。興味のあるものを複数読んでまとめておきましょう。
- ※記載したWebサイト等の最終閲覧日は2025年5月20日です。更新・変更・削除により、閲覧できなくなる場合もあります。

持ち込んでよい資料等

	講義体験	レポート作成
・事前学習で参照したもの	○	○
・事前学習でまとめた資料（自分でまとめたもの）	○	○
・講義体験時のメモ	-	○

※iPad、PC、スマートフォン、タブレットなどの電子機器およびスマートウォッチなどのウェアラブル端末は持ち込むことができません。

取りむうえでのキーワード

早期英語教育、小学校外国語活動・外国語科、第二言語習得

内容とテーマ

**内 容：講義体験（65分）、レポート作成（45分）**

**テーマ：私たちのまちにある福祉のマークについて考えてみよう**

みなさんは、まちのなかで下のようなマークを見かけたことがありますか。そして、このマークの意味を知っていますか。私たちは、普段、あまり意識していないかもしれませんが、社会には移動や活動に困難を抱える人がたくさんいます。その困難は、妊娠やけがのように一時的な場合もありますし、障害や老いのように長く続く場合もあります。また、その困難が外からわかる場合もありますし、「こころの不調」や「聴こえにくさ」のように外からわかりづらい場合もあります。

自分で自由に移動や活動ができる人も、何らかのサポートを必要とする人も、その人らしく、安心・安全に日常生活を送ることが理想です。その一助となるツールとして、このようなマークはいろいろな場面で使われています。

講義体験では、このようなマークについて、その意味と役割を確認し、安心して暮らせる地域、他者理解などについて考えます。レポート作成では、「安心して暮らせる地域にするためにひとりひとりにできること」について、講義体験を踏まえてまとめます。



事前学習

みなさんの住んでいるまちで、障害のある人、病気の人、小さな子どもを連れた人、妊婦さん、お年寄りなどに関係するマークやサインを見つけてきてください。そして、それを簡単にスケッチしたり、写真に撮るなどして、「学びの体験プログラム」に持ち込んでください。マークなどを探す際には、以下の参考資料に挙げたホームページなど参考にしてください。

参考資料

- ① 「障害者に関するマークの一例」 内閣府  
<https://www8.cao.go.jp/shougai/mark/mark.html>
  - ② 「マタニティマーク 公式サイト」 こども家庭庁  
<https://sukoyaka21.cfa.go.jp/maternitymark/>
  - ③ 「広島県思いやり駐車場利用証交付制度について」 広島県  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/263/1305535684157.html>
  - ④ 『令和6年版障害者白書』「第5章住みよい環境の基盤づくり」 内閣府  
<https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/r06hakusho/zenbun/index-pdf.html>
- ※記載したWebサイト等の最終閲覧日は2025年5月20日です。更新・変更・削除により、閲覧できなくなる場合もあります。

持ち込んでよい資料等

	講義体験	レポート作成
・事前学習で参照したもの	○	○
・事前学習でまとめた資料（自分でまとめたもの）	○	○
・講義体験時のメモ	—	○

※iPad、PC、スマートフォン、タブレットなどの電子機器およびスマートウォッチなどのウェアラブル端末は持ち込むことができません。

取り組むうえでのキーワード

ピクトグラム、他者理解、安心して暮らせる社会

内容とテーマ

**内 容：講義体験（60分）、レポート作成（50分）**

**テーマ：ストレスを題材にして、こころと身体のつながりについて考えてみよう**

こころと身体はつながっていて、互いに影響を与えています。たとえば、大勢の前で発表するときに緊張して喉が渇いたり、心臓がドキドキしたことはありませんか。これは、こころの状態が身体に表れている一例です。また、ストレスや不安が続くと、胃痛や肩こりなどの身体的な症状が出る場合があります。さらに、長い間ストレスを感じていると免疫の働きが弱まり、風邪などの病気にかかりやすくなることも知られています。反対に、身体の状態がこころに影響を与えることもあります。空腹でイライラしたり、病気のときに不安や落ち込みが強くなることなどがその例です。このように、こころと身体は密接に関連しており、健康を保つにはこころと身体の両方のケアが大切です。

そこで講義体験では、「ストレス」を手がかりにして、こころと身体のつながりを解説します。そして、ストレスを感じたときに身体にどのような変化が起きるのかをグループで話し合い、ストレスのサインに早めに気づくことの大切さについて考えていきます。さらに、こころと身体をリラックスさせるための簡単なエクササイズにも取り組みます。

レポート作成では、事前学習で調べたこと、そして講義体験で考えたことの両方をふまえて、設定された課題に取り組んでもらいます。

事前学習

1. 以下の参考資料などをもとに、ストレスが生じる基本的な仕組みについて調べておきましょう。
  2. 普段の生活の中でストレスを感じたときの身体の状態や行動を振り返り、記録しておきましょう。
- ※グループワークで共有する可能性があるため、他の人に話したり見せたりしてもよい内容にしておいてください。

参考資料

- ① 「心のセルフケア動画①『ストレスとその解消法』（中学校・高等学校用）」徳島県教育委員会（YouTube 徳島県チャンネル）  
<https://www.youtube.com/watch?v=NT7XmmXoZfw>  
 ▶ストレスの基礎的な理解と対処法について、わかりやすく説明されています。
  - ② 「心のセルフケア動画②『心と体の元気について』（中学校・高等学校用）」徳島県教育委員会（YouTube 徳島県チャンネル）  
<https://www.youtube.com/watch?v=RSIfB5u7i-0>  
 ▶こころと身体の関係について、日常生活に即して学ぶことができます。
  - ③ 「こころもメンテしよう：若者のためのメンタルヘルスブック」厚生労働省  
<https://www.mhlw.go.jp/kokoro/youth/docs/book.pdf>  
 ▶こころの健康についての基本的な知識を得る資料として、特にP.6～P.9の「ストレスの理解と対処法」に注目してください。
- ※記載したWebサイト等の最終閲覧日は2025年5月20日です。更新・変更・削除により、閲覧できなくなる場合もあります。

持ち込んでよい資料等

	講義体験	レポート作成
・事前学習で参照したもの（書籍、サイトを印刷したもの等）	○	○
・事前学習でまとめた資料（自分でまとめたもの）	○	○
・講義体験時のメモ	-	○

※iPad、PC、スマートフォン、タブレットなどの電子機器およびスマートウォッチなどのウェアラブル端末は持ち込むことができません。

取り組むうえでのキーワード

ストレス、こころと身体つながり、ストレス対処法、セルフケア

内容とテーマ

内 容：講義体験（50分）、レポート作成（60分）

テーマ：エコクッキングから食品ロス削減の取り組みについて考えてみよう

世界では人の消費のために生産された食料のおよそ3分の1である約13億トンが毎年廃棄されています。日本でも1年間に約472万トン（2022年度推計値）もの食料が捨てられており、日本人1人当たり茶碗1杯分のごはんの量が毎日捨てられている計算になります。これは経済損失として約4兆円に相当します。その一方で、世界では約7.5億人（約10人に1人）が十分な量の食べ物を口にできず、栄養不足で苦しんでいます。このような現状から、2015年の国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs、Sustainable Development Goals）」の中では食品ロスの問題、或いは食料の損失・廃棄の削減についても取り組みが進められています。

そこで講義体験では、食品ロスを取りまく世界や日本の現状についてSDGsの目標2「飢餓をゼロに」、目標12「つくる責任つかう責任」の2つの観点から解説します。次に、いつもは捨ててしまう野菜の葉や余った料理などを工夫して調理することで美味しい一品に変える「エコクッキング」について、まとめたことを共有します。「もったいない」を意識しながら、食品ロス削減に向けてどのような取り組みができるかを一緒に考えましょう。

講義体験では、講義内容を理解し、自分の生活や体験と照らし合わせて考える力が求められます。

レポート作成では、事前学習や講義体験をふまえて、自分の考えを簡潔にまとめ、文章で表現する力が求められます。

事前学習

- 以下の参考資料①と②のウェブサイトやその他の自分で調べた資料から、エコクッキングのレシピを5つ選び、「料理名」、「出典」、「材料」、「作り方」、「エコな理由・エコな点」をまとめておきましょう。
- 以下の参考資料③と④の消費者庁ウェブサイトを読覧し、食品ロスの現状を調べておきましょう。また、国や地方自治体或いは企業が取り組んでいる食品ロス削減に向けた活動をまとめておきましょう。

参考資料

- 「消費者庁のキッチン（公式ページ）」消費者庁（料理レシピサービス「クックパッド」内）  
<https://cookpad.com/jp/users/40094209>
- 「エコクッキング」広島市  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/gomi-kankyo/1014953/1005949/index.html>  
▶ 広島の大學生や高校生が考案したエコレシピの具体例を調べるのに役立ちます。
- 「食品ロスについて知る・学ぶ」消費者庁  
[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_policy/information/food\\_loss/education](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/education)
- 「めざせ！食品ロス・ゼロ（特設サイト）」消費者庁  
<https://www.no-foodloss.caa.go.jp/index.html>  
▶ 食品ロス削減の活動を調べるのに役立ちます。

※記載したWebサイト等の最終閲覧日は2025年5月20日です。更新・変更・削除により、閲覧できなくなる場合もあります。

持ち込んでよい資料等

	講義体験	レポート作成
・事前学習で参照したもの	○	○
・事前学習でまとめた資料（自分でまとめたもの）	○	○
・講義体験時のメモ	-	○

※iPad、PC、スマートフォン、タブレットなどの電子機器およびスマートウォッチなどのウェアラブル端末は持ち込むことができません。

取り組むうえでのキーワード

食品ロス削減、エコクッキング（エコ料理、エコレシピ）、SDGs

内容とテーマ

**内 容：講義体験（60分）、レポート作成（50分）**

**テーマ：留学経験者の話から、留学を楽しむために必要な  
コミュニケーション力について考えよう**

グローバル化が進む現代社会では、自分とは異なる文化の人たちと、うまくコミュニケーションをとる力がますます大切になっています。留学は、そうしたコミュニケーションの力を高めるとても良い機会です。しかし、日本での考え方をそのまま持ち込んだのでは、うまくコミュニケーションはとれません。自分の育った文化がコミュニケーションスタイルに影響していることもその理由です。留学先で、上手にコミュニケーションするためには、自分の文化や考え方の特徴を理解することもとても大切です。

講義体験の準備として、留学先で必要だと思うコミュニケーション能力をいくつかリストにしてください。講義体験当日は、そのリストを日本語で発表してもらいます。

講義体験では、自分と異なる文化の人たちとのコミュニケーションの基本的な考え方を紹介します。また、留学した人たちが、留学先でのコミュニケーションでどのような難しさがあったかを見てみます。講義体験の中では、教員と簡単な英語のやりとりを行う機会もあります。さまざまな文化の人たちとともに生きてゆくために必要な力について説明するとともに、自分の目標を明確にし、達成するための将来の道筋を考えます。

講義体験後のレポート作成では、事前に考えてきた内容に加え、講義体験での教員のコメントなども踏まえ、さまざまな文化の人たちとのコミュニケーションに必要な力について、800字程度のレポートにまとめて提出してもらいます。

事前学習

講義体験に備えるため、以下の参考資料を読んでください。これらの資料には、そうした異文化コミュニケーションを経験した方の体験談が書かれています。異なる文化の人たちとのコミュニケーション力が、留学においてどのように重要であるか、また、留学を通じてそうしたコミュニケーション力を向上させることでどのような利点があるのかについて考えておきましょう。

参考資料

- ① 「異文化コミュニケーションとは？よくある失敗例と必要なこと・大切なことを解説」  
HR institute（「ミライイ：未来×いい×人」サイト内）  
<https://www.hrpro.co.jp/miraii/post-1480/>
- ② 「異文化コミュニケーションとは何か？文化の違いや特徴を理解してビジネスに活かす」  
株式会社カルチャリア（「ハピネス@ワークチャンネル」サイト内）  
<https://hw-channel.culturia.co.jp/intercultural-communication-differences/>
- ③ 「国際協力出前講座」JICA 中国（JICA サイト内）  
<https://www.jica.go.jp/domestic/chugoku/activities/kaihatsu/demae/index.html>  
→ページ内「出前講座レポート」では、中国地方で実施された出前講座のレポートを見ることができます。特に「異文化コミュニケーション（2024年10月5日実施）」は参考になります。

※記載したWebサイト等の最終閲覧日は2025年5月20日です。更新・変更・削除により、閲覧できなくなる場合もあります。

持ち込んでよい資料等

	講義体験	レポート作成
・事前学習で参照したもの（書籍、サイトを印刷したもの等）	○	○
・事前学習でまとめた資料（自分でまとめたもの）	○	○
・講義体験時のメモ	-	○

※iPad、PC、スマートフォン、タブレットなどの電子機器およびスマートウォッチなどのウェアラブル端末は持ち込むことができません。

取り組むうえでのキーワード

留学の意義、グローバル社会で求められる能力、コミュニケーション力、表現力

## 10 「進路探究ノート」と「進路探究レポート」の詳細

総合型選抜〔専願〕オープンキャンパス進路探究方式と離島特別方式の志願者が提出する「進路探究ノート」と「進路探究レポート」は、次の観点で評価しますので、記入にあたっては以下の内容をよく確認しておきましょう。

### 概要

1. 各学科・専攻が示したテーマ例を参考にして、自分のテーマ（進路に関わる問い）を設定する。テーマ例をそのまま使用してもかまいません。
  2. テーマ（問い）に対する自分の考え（結論）をまとめるにあたり、オープンキャンパスを活用して情報収集（インタビュー調査）し、その記録を「進路探究ノート」に記入する。
  3. テーマ（問い）に対する自分の考え（結論）を「進路探究レポート」として800～1200字でまとめる。
- ※「進路探究ノート」と「進路探究レポート」はパソコン等でも作成できます。  
※「進路探究ノート」と「進路探究レポート」の様式は本冊子巻末に綴込んでいます。

### ■ 進路探究ノート

#### 1. 内容

進路に関するテーマを自分で設定し、そのテーマについて調べるために、オープンキャンパスに参加してもらいます。そして、オープンキャンパスで学生や教員に質問をし、得られた情報を「進路探究ノート」に記録していきます。

#### 2. 作成手順

- ① 各学科・専攻が示したテーマ例を参考にして、自分のテーマ（進路に関わる問い）を設定し、「テーマ」欄に記入してください。  
※テーマ例をそのまま使用しても途中で変更してもかまいません。
- ② オープンキャンパスで学生や教員に聞きたいことを事前に考え、「質問」欄に記入してください。  
※学生や教員と話をした後に入力してもかまいません。
- ③ オープンキャンパスに参加し、学生や教員に質問してください。  
※「先輩や先生と話そう！おしゃべり相談会」を活用してください。  
※「回答者」欄への記入は、質問をした学生または教員にお願いしてください。
- ④ 学生や教員に聞いた内容を「回答内容」欄に記入してください。

#### 3. 作成する際の注意点

- ・「進路探究ノート」は質問をした学生・教員1人につき1枚ずつ作成してください。
- ・「進路探究ノート」の用紙は、オープンキャンパスの入試相談ブースや各学科の相談ブースにも準備していますので、必要な方は声をかけてください。また、本冊子巻末に綴込んでいる用紙をコピーしてもらってもかまいません。

#### 4. 評価のポイント

自分が設定したテーマについて調べるために積極的に情報を集めようとしたことが確認できるかどうか、知りたい情報を聞き出せるよう質問を工夫しているかどうか、「作成手順」や「作成する際の注意点」に従って作成されているかどうか、といった観点から評価をします。

### ■ 進路探究レポート

#### 1. 内容

自分が設定したテーマ（問い）に対する自分の考え（結論）を、オープンキャンパスに参加して得られた情報などを引用しながら800～1200字でまとめていきます。

#### 2. 作成する際の注意点

- ・どのようなテーマを設定したのかが分かるようにしてください。
- ・オープンキャンパスでの学生や教員の話を用いる場合、①いつ、②誰が、③どのような話をしたのか、が分かるように記述してください。その際、学生や教員の所属や学年は不要です。ただし、複数の学科の学生や教員の話を用いる場合は、必要に応じて記述してください。  
(例) ○○さんに□□学科の特徴について尋ねると、……と答えてくれた（5月18日）。  
(例) □□学科には、……という特徴があり（○○さん、5月18日）、さらに、……という魅力もある（△△先生、6月14日）。
- ・進路探究ノートに記述した全ての内容を含める必要はありません。自分の考えを説明するために必要な情報を取捨選択してください。
- ・オープンキャンパスで聞いた話以外の内容（たとえば、HPで調べたことや他大学のオープンキャンパスに参加して得た情報など）を引用してもかまいません。その際は、本学のオープンキャンパスで得られた情報ではないことが分かるように記述してください。

#### 3. 評価のポイント

自分が設定したテーマに対する自分なりの考えを説明するためにオープンキャンパスなどで得られた情報をうまく活用できているかどうか、そして自分なりの考えが分かりやすくまとめられているかどうかという観点から評価をします。また、「作成する際の注意点」に従っているかどうかに加え、字数や段落構成、日本語の表現等が適切かどうかという観点からも評価をします。

パソコン等による作成について

「進路探究ノート」と「進路探究レポート」はパソコン等でも作成できます。

その場合、「進路探究ノート」は手書きと同様に、質問をした学生・教員1人につき1枚ずつ作成してください。様式は問いませんが、①何枚目か、②日にち、③回答者の名前・所属・学年など、④テーマ、⑤質問、⑥回答内容、を必ず記載し、1枚に収まるように作成してください。なお、学生や教員に「回答者」欄を記入してもらった「進路探究ノート」の用紙は、①何枚目か、②名前、③学校名、の欄にのみ必要事項を記入し、出願書類と併せて提出してください。

「進路探究レポート」の場合、レポート内容はパソコン等で作成したものを提出し、併せて「進路探究レポート」用紙の太枠内に必要事項を記入したものを提出してください。

各学科テーマ例について

各学科が示したテーマ例を参考にして、自分のテーマ(進路に関わる問い)を設定し、「テーマ」欄に記入してください。

※テーマ例をそのまま使用しても途中で変更してもかまいません。

教育学科

- ・子どもに関わる仕事や国語・英語にかかわる仕事はいろいろあるのに、なぜ保育士・教員になりたいのか？
- ・「幼稚園教諭・保育士」、「小学校教諭」、「中学校・高等学校の国語科教諭」、「中学校・高等学校の英語科教諭」と選択肢は複数あるのに、なぜ「〇〇〇教諭」・「保育士」を選んだのか？

人間福祉学科

- ・なぜ、人と関わる介護や保育、相談支援の仕事につきたいのか？
- ・あなたは福祉で何が学べそうですか？それはどう生かしていけそうですか？

心理学科

- ・他の学問にはない、心理学の魅力はなにか？
- ・本学(広島文教大学)の心理学科で学ぶことにより、どんな力が身につくか？
- ・オープンキャンパスの模擬授業を受けて、興味を持って、もっと調べてみたいと思ったテーマや用語はなにか？

人間栄養学科

- ・なぜ、4年制大学で栄養学を専門的に学びたいのか？
- ・なぜ、食と健康の観点から人を支援する仕事に就きたいのか？また、なぜ、管理栄養士の資格取得を目指したいのか？
- ・栄養士や管理栄養士は、実際にどのような職場で、どのような仕事をしているのか？

グローバルコミュニケーション学科

- ・オープンキャンパスに参加して、本学(広島文教大学)のグローバルコミュニケーション学科にどのような特色があり、どのような点が自分に向いていると感じたか？
- ・なぜ、特定の資格を取得するのではなく、一般就職を目指そうと考えたのか？大学四年間で、どのような力を伸ばして、就職に生かしていこうと考えているか？
- ・留学によって、これまでに無いどのような体験ができると考えているか？そのためには、どのような準備や心構えが必要と思うか？